令和５年度 紫原小学校「学校だより」（NO. ２）

つくしんぼ

Tel 251－1323　http://keinet.com/murasas

教育目標　夢と希望を持ち「自立」した紫原の子供を育てる
～あいさつ・掃除が確実にできる子供の育成～

発行日　令和５年５月25日
発行責任者　校長　川畑 敏彦

「ご近所の底力」を高めよう！

校長 川畑 敏彦

昔，金曜日の夜8時から放送されていた，NHKの「難問解決！ご近所の底力」という番組をご存じでしょうか？切実な社会問題から，暮らしの中の悩みまで，日本の地域が抱えるさまざまな問題を，地域の人たちと一緒になって解決するという視聴者参加型の番組で，「住宅街の防犯」「犬のフン害」「町の落書き」「カラスの問題」「ゴミの分別」など，町内会や自治会の課題から「棚田の復活」「森林の保全」といった環境問題まで幅広く取り上げたもので，毎週楽しみに拝見していました。

中でも，「子供を狙う犯罪を防げ！」というタイトルの放送は今でも鮮明に覚えています。

子供を標的にした犯罪事件が後を絶たない状況の中，事件を詳細に分析してみると，子供たちの見回りをする人がいなくなる「空白の時間」を狙って犯行が増加していることがわかります。より巧妙になった犯人から子供たちを守るにはどうしたらいいのか，地域でできることはないか・・・。を考えていくという内容でした。

本地域でも昨年度から不審者情報等があり，普段から子供たちの安全については十分注意しているところです。「子供たちの安全を守る」ということについては，学校だけでなく，家庭，地域（ご近所）の方々の連携や力が大変重要で，その力をどう組織的に機能させていくかが課題であるといえます。

そこで・・・昨年度末にPTAと校区まちづくり協議会が連携して「つくしっ子みまもり隊」の帽子を作成し，PTA役員や地域の方々に配布しました。

この「つくしっ子みまもり隊」は，PTA，町内会長さん，民生委員・児童委員の方々，スクールガードリーダー等地域の方々に，子供たちの登下校に合わせて，見守りやあいさつ，声掛け活動を実施していただくことを目的としています。

ピンク色の「みまもり隊」の帽子をかぶった人が紫原校区いっぱいになり，子供たちの登下校の安全見守りや声掛け等をしていただくことで，犯罪の抑止効果は高まります。学校では子供たちに，「ピンク色の帽子をかぶっている方方は，みんなを見守ってくれる人たちだから，安心して進んであいさつしようね。」と指導しています。何より，子供たちが「多くの大人に見守られている。」ということを実感できることが，安心・安全につながっていくものと考えます。そして，安全はもちろん，「笑顔であいさつ心豊かな紫原」になることも願っています。

まだまだこの活動は始まったばかりです。今後も「みまもり隊」の方々を増やしていきたいと考えています。子供たちの登下校時間に合わせて，家の前に立っていただいたり，帽子をかぶって散歩していただいたり，できる人ができる場所で無理のない活動を進めていけたらと考えます。

紫原校区全体がピンクの帽子でいっぱいの大人たちがいる。そんな素晴らしい街にしていけたらうれしいです。紫原はそんな良さが残っている「まち」だと思います。協力していただける方はぜひ，紫原小学校までご連絡ください。

今後も子供たちが，安全に安心して学校に通えるよう「ご近所の底力」を高めていきましょう。